

平成19年度流域管理推進アクションプログラム実施メニュー

北海道森林管理局(後志署)

項目	No	流域名	森林管理署等	取組名 (新規・継続・拡充)	実施場所	実施時期	関係機関	取組の概要
計画的な木材供給の推進	1	後志胆振	後志署	流域内での間伐材の利用促進(継続)	後志署管内	4月～3月	活性化協議会	○活性化協議会等の主催事業への協力、参加していくとともに、国有林野事業実施の治山事業、林道事業等での間伐材等木材利用の推進。ペレットストーブも設置して、木質バイオマスの利用宣伝を行う。
林業事業者の育成	2	後志胆振	後志署	林業事業者の育成(継続)	後志署管内	4月～3月	林業事業者	○木材販売事業においては林業事業者の経営基盤の強化のため、及び造林事業についても、事業量について計画的・継続的発注を行い、経営基盤の強化を図っていく。
林業技術の普及・啓発	3	後志胆振	後志署	民有林と連携した技術検討会の実施(継続)	後志署管内	10月	森づくりセンター、支庁等	○道有林のフィールドを対象に、道有林と国有林を管理している職員が森林施業等林業技術について、現地で意見交換を行い、情報の共有化を図っていく。
林業技術の普及・啓発	4	後志胆振	後志署	森林施業モデル林の活用について(新規)	後志署管内	6月～10月	活性化協議会	○当署の複層林施業を行っているモデル林を利用し、民有林関係者を招いて多様な森林施業の現地検討会開催に向けて検討していく。
効率的な路網整備	5	後志胆振	後志署	低コスト・高効率な作業システムの普及(新規)	後志署管内	4月～3月	活性化協議会	○国有林が持っている低コスト・高効率な作業システムの情報を林業関係者へ提供し、流域内への普及を図っていく。
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	6	後志胆振	後志署	地元と連携した北限ブナ林の再生プロジェクト(新規)	後志署管内	5月～10月	黒松内岳ブナ林再生プロジェクト実行委員会	○平成18年度に黒松内岳ブナ林再生プロジェクト実行委員会が設立され、平成19年度は作業場所の設定とブナの種子の確保が予定されており、当委員会へ森林管理署が協力・指導していく。
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	7	後志胆振	後志署	漁業関係者等との森林整備活動の推進(継続)	後志署管内	5月～10月	漁業関係者等	○当流域内の漁業関係者等に、国有林内での植樹等森林整備活動の働きかけを行い、清流を守り豊かな海を育むための森づくり活動推進に貢献していく。
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	8	後志胆振	後志署	国有林フィールドを活用して地域活性化へ(新規)	後志署管内	4月～3月	関係官公庁	○各事業や各市町村等の情報・ニーズ等を収集する中で、国有林を利用した新たな観光資源等を掘り起こしながら、今後の当署事業にも反映していくことを検討していく。
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	9	後志胆振	後志署	国有林のPR強化対策(新規)	後志署管内	4月～3月	—	○国有林に設置されている案内看板について、設置状況を把握し、データベース化していく中で、今後の更新において、看板の統一化を含め整備に努めていく。
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	10	後志胆振	後志署	大平山における多様な森林生態系の保全(継続)	後志署管内	6月～3月	大平山高山植物保護対策協議会	○当該保護林は希少な植生が多く見られる。近年、多くの登山者による踏み荒らしや盗掘問題が生じていることから、協議会、NGO等と協力連携し保護管理に努めていく。

項目	No	流域名	森林管理署等	取組名 (新規・継続・拡充)	実施場所	実施時期	関係機関	取組の概要
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	11	後志胆振	後志署	「洞爺湖・中島」森林生態系保全・再生対策の推進(継続)	洞爺湖中島国有林	4月～3月	洞爺湖中島のエゾシカ対策協議会、観光協会	○当該地域は、エゾシカ食害により森林生態系に影響を与えるなど問題が生じていることから森林機能の回復等を願い協議会等と協力し植生等調査を実施していく。
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	12	後志胆振	後志署	歌才植物群落保護林における保護林保全対策の推進(継続)	歌才植物群落保護林	4月～3月	黒松内町	○当該保護林は、近年、入り込み者等の増加により歩道周辺の生育環境の悪化が見られることから、階段工や木柵の設置等保全管理に努めていく。